

共通科目英語カリキュラムとその評価

長 井 克 己 (大学教育開発センター教授)

1. 全学共通科目英語の新カリキュラム

2011年実施の共通科目英語カリキュラムは科目名を Communicative English I / II / III / IVとし、コミュニケーション能力の育成を目指すことを明確にしている。1年生は学部・学科別により3レベルを設定した授業を週1回受けながら、別途 TOEIC に対応した全学共通教科書の内容を e-learning「リングポルタ」を利用して自宅学習する。1年の前後期末には全学生が TOEIC テストを受験し、学習到達度を測定する。続く2年生の英語科目は各キャンパスで開講され、前期の Communicative English IIIはスピーチ・プレゼンテーションを、後期の Communicative English IVではライティングを、それぞれテーマとすることにより、リスニングとリーディングに偏った TOEIC テストの欠点を補うことを目指している。

この新カリキュラムの年度進行により、既に6単位を修得した学生向けに従来開講されてきた上級英語 I / IIも再編された。上級英語 I / IIが高学年向け教養科目として外国語科目の枠外で開講されてきたのに対し、新カリキュラムの Academic English I / IIは外国語科目として開講される。このことにより、2005年の TOEIC 義務化により増加してきた資格取得による履修免除学生の学習機会を確保することが可能になる。なお、一部学部で上級英語を学部開講科目に読み替える事例が存在したため、Academic English I / IIへの全面移行は2016年度からとし、それまでの間は上級英語が移行措置として開講される(表1)。旧カリキュラムの上級英語は Communicative English I / II / III / IVの導入と同時に英語名 Advanced English I / IIを並記し、インターナショナルオフィス開講の Study Abroad との混同を避けるよう工夫している。

2. Communicative English IVについてのアンケート調査

Communicative English IVを受講する2年生を対象に、2013年2月にアンケート調査を行った。有効回答数は875であり、学部全体への比率をグラフ化したものを以下に示す。グラフの縦軸は上から、再履修者(再)、工学部(T)、医学部看護学科(A)、教育学部(L)、法学部(J)、経済学部(E)、農学部(A)を示す。

香川大学では1年生時に TOEIC と授業用教科書によってリスニングとリーディングを学習した後、2年前期にスピーキング(スピーチやプレゼンテーションなどでの発信)能力を、2年後期にライティング能力を高めることを、全学生が学習目標としている。Communicative English IVがライティングを中心としていることについてどう思うかを尋ねた結果を図1に示す。全体の過半数が肯定的な意見であるようだが、医学部看護学科でその傾向が顕著であること、経済学部では逆に前期のプレゼンター

表1 英語新カリキュラムへの移行措置（上級英語）

2014年～2015年(経過措置)			
幸町キャンパス			
上級英語 (Advanced English I (1)) 2 credits/slot (高学年向け教養科目)	Intensive English I 1 credit/slot (外国語科目)	上級英語 (Study Abroad) 2 credits/slot (高学年向け教養科目)	
上級英語 (Advanced English II (1)) 2 credits/slot (高学年向け教養科目)	Intensive English II 1 credit/slot (外国語科目)		
医学部キャンパス		工学部キャンパス	農学部キャンパス
上級英語 (Advanced English I (2)) 2 credits/slot (高学年向け教養科目)		上級英語 (Advanced English I (3)) 2 credits/slot (高学年向け教養科目)	
上級英語 (Advanced English II (2)) 2 credits/slot (高学年向け教養科目)	上級英語 (Advanced English II (4)) 2 credits/slot (高学年向け教養科目)	上級英語 (Advanced English II (3)) 2 credits/slot (高学年向け教養科目)	実用英語 2 credits/slot (学部提供科目)
2016年(新カリキュラム)			
幸町キャンパス			
Academic English I A 1 credit/slot (外国語科目)	Intensive English I 1 credit/slot (外国語科目)	上級英語 (Study Abroad) 2 credits/slot (高学年向け教養科目)	
Academic English II A 1 credit/slot (外国語科目)	Intensive English II 1 credit/slot (外国語科目)		
医学部キャンパス		工学部キャンパス	農学部キャンパス
Academic English I B 1 credit/slot (外国語科目)		Academic English I C 1 credit/slot (外国語科目)	
Academic English II B1 1 credit/slot (外国語科目)	Academic English II B2 1 credit/slot (外国語科目)	Academic English II C 1 credit/slot (外国語科目)	実用英語 2 credits/slot (学部提供科目)

- *旧カリキュラム「上級英語 I / II」（高学年向け教養科目、各2単位）は、年度進行で新カリキュラム科目「Academic English I / II」（既修外国語（英語）科目、各1単位）へ変更される
- *大学教育開発センター担当の上級英語は「Advanced English I / II」と英語表記し、2012年入学生の卒業年次まで経過措置として開講する。
- *新カリキュラム科目 Academic English I A / B / CとII A / B / CのA / B / Cは開講キャンパスを表すが、学部を問わず受講できる。
- *Academic English I / IIは Communicative English I / II / III / IVの単位を修得した学生のみ受講でき、レベルを保つため受講調整を行う。
- *Academic English I / IIを Communicative English III / IVの代わりに履修・再履修することはできない。
- *Academic English I / IIは外国語科目なので、資格試験による履修免除を受ける場合、1年次に6単位を修了することもできる。
- *Academic English I / IIは履修の順序を問わない。Academic English IIのみを履修することも可。
(Communicative English I / IIはグレード制なので、再履修の場合を除きI - IIの順序で履修しなければならない。)

シオン・スピーキング中心の授業を続けてほしい学生が多いことが見てとれる。なお、Communicative English IIIについての調査は昨年度の「香川大学教育研究」に紹介されているのでそちらを参照されたい。

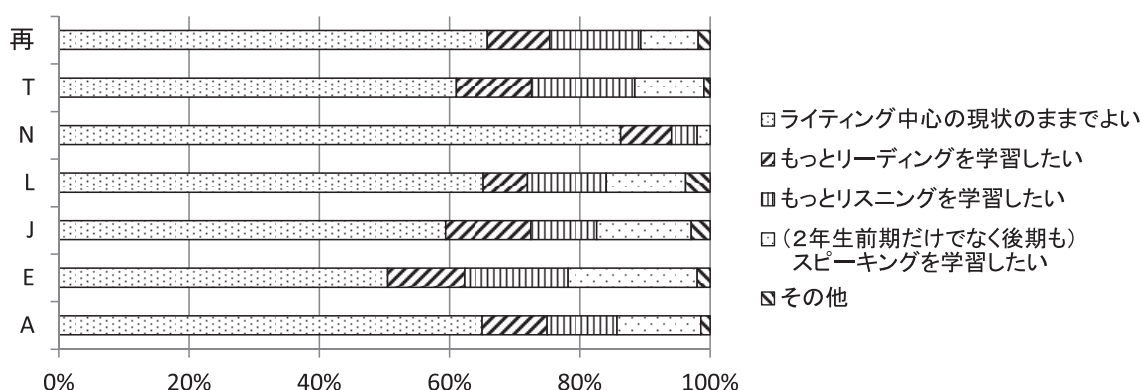


図1 Communicative English IVがライティングを中心としていることについて

図2は授業用教科書の難易度について尋ねたものである。教科書を難しいと感じる学生が多いのは工学部、医学部看護学科、農学部が目立つ。2年生向け教科書の選択は担当教員に任されているが、さらに学部学科に適した教科書が選定されるよう、担当教員をお願いしたいと考えている。

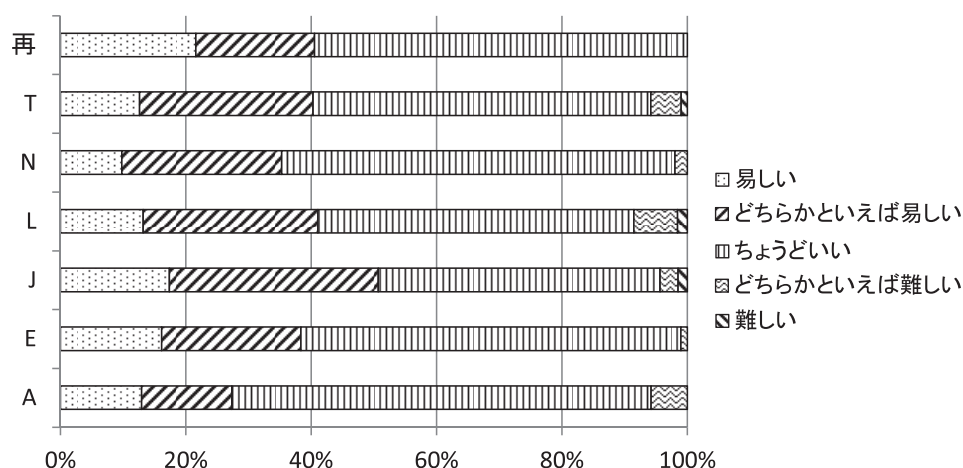


図2 Communicative English IVで使用している教科書の難易度について

図3は2年生にTOEICの受験が不要で、e-learning（リンガポルタ）もないことをどう思うか尋ねたものである。昨年の調査でも同様の傾向であったが、一定数の学生が2年生時にもTOEICを受験したいと考えている一方、e-learningはもう十分だと考えている学生が多い。ただしこの質問は1年生時にTOEICの問題集を元に作成されたe-learningの必要性を問うたものなので、例えばライティングが学習できるe-learningをしてみたいかどうかを尋ねた質問ではない。今後の検討課題である。

以下には自由記述欄の学生の意見を列挙する。

- 毎回の授業が楽しい。
- ただ自分の好きなことなどを伝える英作文を作ったりするだけでなく、自分の将来について作文をするのはすごく良い機会になりました。
- スピーキング学習が一番実用的だと思う。
- 自分の持つ参考書などを使って勉強したいので、宿題は少なくしてほしい。

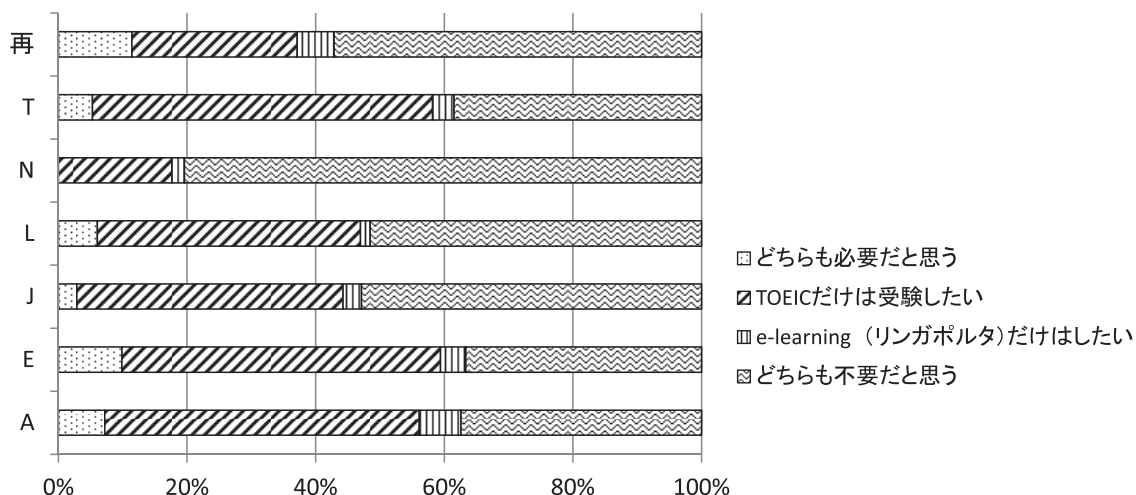


図3 2年生でも TOEIC や e-learning を利用して学習したいかどうか

- 英語を読ませる機会が少ないと思います。
- 香川大学は香川唯一の国立大であるので、今の惨状を打開するためにも極端にレベルの高いものをスタンダードに据えるべきではないだろうか。
- 一人一人添削してくれた点は、非常にありがたかった。
- 資格に対する施設（本学にはあるが）のようなものが、農学部にもあると良い。
- 卒業要件に、TOEIC スコアのボーダーラインを設定すべき
- 高校ではないので、実用的な英語を重視してほしい。TOEIC は個人で受ければ良いのでは。
- 前期と後期とでスピーキングとライティングをきっぱりと分ける意味が分からない。
- クラスによって授業内容が異なりすぎていると思う。
- All in English の授業は理解できませんでした。

3. Communicative English IV についての教員向け調査

学生向け調査と同時に、担当教員に対してもアンケート調査を行い、24 名から回答を得た。図4は学生向けと同じ質問を教員にしたものである。後述の自由記述欄にあるように、2年前期の Communicative English III でライティングを、2年後期の Communicative English IV でプレゼンテーションを学習した方が、発表の準備を「ライティング」できて好都合という意見もある。2年生前後期では現在、同じクラスを違う教員が担当することとなっている。それを廃止することの是非についても今後の検討が必要である。端的に言えば、通年で担当する方が教員は

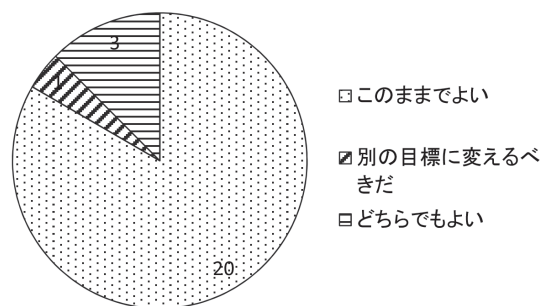


図4 Communicative English IV がライティングを中心としていることについて

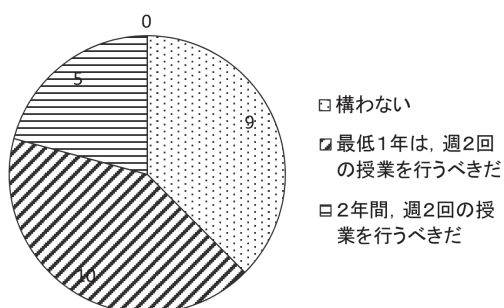


図5 共通科目英語は1、2年とも週1回の授業しかないことについて

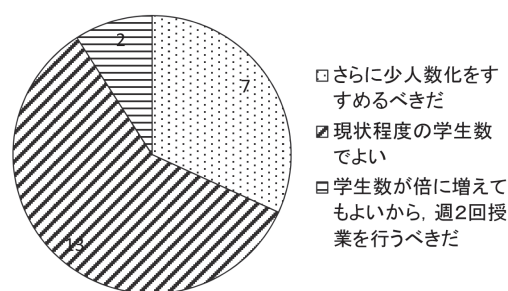


図6 Communicative English IVのクラスサイズについて

学生に目が届き学生も慣れて良いと考えるか、多様な教員・学生の授業を経験する方がお互いに良いのか、という選択である。

図5は入学後2年間、英語が週1回しかないことについての質問である。新カリキュラムで週2回の英語授業は実現できなかったが、語学力を伸ばすには学習時間が唯一有意な変数であることを、担当教員は経験から知っているのもであろう。2/3以上が週あたりの授業数を増やすよう希望しているのは、他大学の実情を勘案しても当然の結果と思われる。一方習熟度別クラス編成と少人数クラス編成に関しては、定量的にどの程度効果があるのかについての信頼できる研究成果は少ない。一クラスの人数について、さらに少人数化を進めるべきという意見が図6で大多数ではないのも、やむを得ないことかもしれない。

教員による自由記述欄の意見も以下に列挙する。

- ライティングの授業を前期にして、スピーキングを後期にするのはどうでしょう？スピーキングの授業が、英会話でなく、スピーチやプレゼンをさせるのなら、実質には原稿を書く能力が求められるため。
- スピーキングでも原稿のライティング能力が必要なので、前期ライティング、後期スピーキングという組み合わせもあるかなと思います。
- LLやe-learningを活用し、多人数クラスを作ってバランスを取る。
- IIIとIVは20人以下にする。
- 微妙な言い回しや表現など、ネイティブでない私にとって添削するのに限界を感じました。
- 最初から割り当てられたクラスの学生数が20人以下であり、スタート時にはやや寂しい感じでしたが、全員まじめに取り組む学生ばかりで、すぐに人数の少なさは嬉しさに変わった。ライティングになると必ず指導助言、添削などのフィードバックがマンツーマンで必要となるので、少人数クラスがアドヴァンテージになったと思う。
- 取り組みやすいテキストを選んでいたので、学生にも抵抗感がなかったように思う。ただ量的に内容が多すぎ、15回の授業には過多だった。
- ライティング自体が静かな個人的な言語活動なので、クラス内の友和を図り、コミュニケーションを進捗させようと毎時スピーキングの時間を取り入れたため、ここで時間をかなり費やし教科書進行の量が少なくなったことを学生に申し訳なく思っている。
- ネイティブの先生方にいろいろ助言をいただき、学生にportfolioを作成させた。この側面をもっ

と効果的に用いる工夫をしていきたいと感じている。

- ライティングの課題をチェックするのに時間がかかりました。
- 後期開始前の講師研修（ワークショップ）は非常に参考になりました。今後も開催して下さると助かります。
- Oddly classes seem less active/” connected” than before we introduced TOEIC-based streamlining. Perhaps for students having a friend in class is important!
- パソコンを使って、writing skills を育成できる環境が将来的にあればいいと思います。手書きよりもパソコンを使って英文を作る機会の方が多いためです。

4. TOEIC テストの学部別成績分布

最後に2013年度の前後期末に実施した1年生のTOEICテストの学部別成績分布表を示す。新カリキュラムの定着により前期TOEICテストによる後期履修免除学生数が漸増の傾向にあり、後期で受験者数が減少している学部は、その単純な平均点の比較は危険である。特に医学部医学科ではその傾向が強い。

TOEICテストは2005年から1年生のほぼ全員に年2回の受験を義務づけているが、その限界も次第に明らかになってきた。具体的には、(1) 4月の入学時点での習熟度別編成に利用するデータが得られないこと、(2) 半年(1期分)の学習では有意な成績上昇が達成できない学生が多いこと、(3) 受験料が全額学生負担となっていること、等である。(1)についてはTOEIC以外のテストを入学時ガイダンスに組み込むことなどを検討中である。但しその場合、費用と監督者、会場をどうするか等の問題を解決する必要がある。(2)についてはTOEIC-Bridge等の、より難易度の低い別のテストに切り替えたり、2回目のテストを2年生時に実施したりするなどが考えられる。後者の場合、現行のスピーチとライティング中心のカリキュラムを組み替えることになる。(3)については、ぜひ他大学のように一部でも受験料の補助を行うべきであろう。外国語センターの設立は認められなかったが、せめて他大学並の援助は必要だと大学教育開発センターでは考えている。

表2 1年生 TOEIC 成績分布 (後期は成績上位者が履修免除となり受験していない)

2013年7月				2013年12月			
	listening	reading	total		listening	reading	total
農 takers	155	155	155	農 takers	155	155	155
mean	238	181	419	mean	243	191	434
sd	47	54	92	sd	50	48	85
380-	1	0	0	380-	0	0	0
360-375	1	0	0	360-375	1	0	0
340-355	1	0	1	340-355	4	0	0
320-335	4	0	0	320-335	8	0	1
300-315	11	5	6	300-315	12	1	3
280-295	6	4	6	280-295	15	3	11
260-275	22	6	15	260-275	22	11	19
240-255	29	9	25	240-255	19	7	30
220-235	27	13	41	220-235	22	26	39
200-215	24	14	26	200-215	25	27	30
180-195	15	29	22	180-195	14	17	15
160-175	6	16	9	160-175	9	27	5
140-155	5	23	4	140-155	2	15	1
120-135	2	19	0	120-135	0	7	0
-115	1	17	0	-115	2	14	1
(listening/reading)			(total)	(listening/reading)			(total)
経済 takers	289	289	289	経済 takers	268	268	268
mean	241	203	445	mean	246	199	446
sd	53	63	104	sd	56	63	108
380-	1	0	0	380-	1	2	0
360-375	3	0	0	360-375	6	0	2
340-355	6	4	1	340-355	5	1	1
320-335	7	5	6	320-335	10	2	4
300-315	23	8	15	300-315	27	10	14
280-295	36	24	26	280-295	28	13	21
260-275	34	20	38	260-275	46	18	44
240-255	45	20	63	240-255	32	29	56
220-235	32	39	50	220-235	40	27	42
200-215	42	34	37	200-215	31	45	34
180-195	29	36	31	180-195	12	24	22
160-175	12	24	11	160-175	8	32	16
140-155	12	25	10	140-155	11	15	9
120-135	5	19	1	120-135	4	20	2
-115	2	31	0	-115	7	30	1
(listening/reading)			(total)	(listening/reading)			(total)
法 takers	152	152	152	法 takers	149	149	149
mean	240	200	440	mean	247	205	451
sd	53	62	101	sd	58	60	106
380-	0	1	0	380-	0	0	0
360-375	3	0	0	360-375	3	0	0
340-355	3	1	0	340-355	6	3	2
320-335	3	2	2	320-335	9	1	2
300-315	13	5	7	300-315	12	5	10
280-295	15	6	15	280-295	11	11	13
260-275	21	11	20	260-275	25	9	18
240-255	17	14	32	240-255	19	12	29
220-235	27	19	26	220-235	19	16	33
200-215	17	20	21	200-215	13	29	20
180-195	16	16	16	180-195	19	8	12
160-175	5	12	10	160-175	6	27	8
140-155	9	18	3	140-155	4	8	1
120-135	2	12	0	120-135	0	8	0
-115	1	15	0	-115	3	12	1
(listening/reading)			(total)	(listening/reading)			(total)
教育 takers	192	192	192	教育 takers	181	181	181
mean	233	194	427	mean	236	193	429
sd	57	63	111	sd	57	61	107
380-	3	2	1	380-	3	1	1
360-375	0	0	1	360-375	1	0	0
340-355	3	0	1	340-355	3	0	0
320-335	7	5	2	320-335	7	2	2
300-315	13	3	6	300-315	9	4	7
280-295	13	8	14	280-295	8	10	14
260-275	24	11	20	260-275	35	13	18
240-255	24	13	42	240-255	24	15	40
220-235	27	29	25	220-235	23	16	35
200-215	32	28	30	200-215	30	32	24
180-195	15	14	26	180-195	13	11	21
160-175	13	14	17	160-175	9	25	10
140-155	13	20	5	140-155	7	17	7
120-135	2	21	2	120-135	3	15	2
-115	3	24	0	-115	6	20	0
(listening/reading)			(total)	(listening/reading)			(total)

(表2の続き)

2013年7月				2013年12月			
	listening	reading	total		listening	reading	total
医 takers	95	95	95	医 takers	56	56	56
mean	320	318	638	mean	280	264	544
sd	55	63	106	sd	67	58	109
380-	13	19	6	800-	2	1	1
360-375	6	9	5	750-795	5	4	0
340-355	13	12	16	700-745	4	2	1
320-335	19	11	22	650-695	8	3	10
300-315	15	8	11	600-645	7	5	7
280-295	8	10	14	550-595	6	9	9
260-275	5	8	11	500-545	5	5	9
240-255	10	6	8	450-495	1	8	6
220-235	4	5	1	400-445	7	6	6
200-215	2	3	1	350-395	4	8	5
180-195	0	1	0	300-345	1	0	2
160-175	0	2	0	250-295	160-175	4	3
140-155	0	1	0	200-245	140-155	1	2
120-135	0	0	0	150-195	120-135	1	0
-115	0	0	0	-145	-115	0	0
(listening/reading)			(total)	(listening/reading)			(total)
看護 takers	44	44	44	看護 takers	51	51	51
mean	246	197	444	mean	242	198	441
sd	45	56	92	sd	49	49	84
380-	0	0	0	800-	0	0	0
360-375	0	0	0	750-795	0	0	0
340-355	1	0	0	700-745	1	0	0
320-335	1	0	1	650-695	4	0	0
300-315	4	3	2	600-645	3	0	1
280-295	4	1	6	550-595	3	3	5
260-275	8	6	1	500-545	8	4	9
240-255	6	0	7	450-495	8	6	8
220-235	9	3	12	400-445	8	3	13
200-215	5	3	8	350-395	200-215	8	10
180-195	3	13	7	300-345	180-195	5	5
160-175	3	4	0	250-295	160-175	0	9
140-155	0	4	0	200-245	140-155	2	7
120-135	0	5	0	150-195	120-135	0	2
-115	0	2	0	-145	-115	1	2
(listening/reading)			(total)	(listening/reading)			(total)
工 takers	267	267	267	工 takers	257	257	257
mean	221	163	384	mean	228	172	400
sd	53	49	90	sd	53	53	94
380-	1	1	1	800-	1	0	0
360-375	1	0	0	750-795	3	0	0
340-355	3	0	0	700-745	2	0	0
320-335	2	0	1	650-695	6	2	0
300-315	19	2	1	600-645	16	1	7
280-295	12	2	6	550-595	20	7	9
260-275	21	2	23	500-545	23	9	25
240-255	41	10	34	450-495	240-255	29	10
220-235	37	17	43	400-445	220-235	50	20
200-215	32	22	60	350-395	200-215	42	35
180-195	41	49	51	300-345	180-195	26	25
160-175	27	31	36	250-295	160-175	17	38
140-155	19	35	11	200-245	140-155	9	34
120-135	7	50	0	150-195	120-135	6	33
-115	4	46	0	-145	-115	7	43
(listening/reading)			(total)	(listening/reading)			(total)
再履修 takers	53	53	53	再履修 takers	74	74	74
mean	208	145	353	mean	211	151	362
sd	50	51	91	sd	50	46	78
380-	0	0	0	800-	0	0	0
360-375	0	0	0	750-795	0	0	0
340-355	0	0	0	700-745	0	0	0
320-335	0	0	0	650-695	1	0	0
300-315	2	0	0	600-645	3	0	0
280-295	2	0	0	550-595	2	1	0
260-275	3	0	4	500-545	260-275	7	0
240-255	9	2	7	450-495	240-255	5	0
220-235	6	4	4	400-445	220-235	19	2
200-215	9	4	10	350-395	200-215	11	11
180-195	9	6	13	300-345	180-195	6	3
160-175	3	2	7	250-295	160-175	10	18
140-155	6	5	6	200-245	140-155	4	11
120-135	1	13	2	150-195	120-135	4	10
-115	3	17	0	-145	-115	2	18
(listening/reading)			(total)	(listening/reading)			(total)